

第六次南風原町総合計画

第 2 回 住民ワークショップ 議事要旨(案)

1 開催日時・開催場所

令和 7 年 12 月 15 日(月) 19:00~20:25 南風原町役場 3 階 庁議室
 16 日(火) 19:00~20:15 南風原町役場 3 階 庁議室
 17 日(水) 19:00~20:35 南風原町役場 3 階 庁議室
 18 日(木) 19:00~20:15 南風原町役場 3 階 庁議室

2 出席者

【教育と文化、生涯学習】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	10名
町職員	4名
事務局	1名
委託事業者	2名

【健康と福祉、子育て】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	11名
町職員	4名
事務局	1名
委託事業者	2名

【産業とまちの基盤】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	8名
町職員	6名
事務局	1名
委託事業者	2名

【自治協働と広報、防災・環境】分野

構 成	出席者数
町内在住者・在勤者	9名
町職員	5名
事務局	2名
委託事業者	2名

3 次第

1. 開会
2. 報告事項
 - (1)第 2 回住民ワークショップ議事要旨について
3. 資料説明
 - (1)第 3 回住民ワークショップの進め方について
 - (2)住民ワークショップ提案書について
4. 住民ワークショップ
 - (1)各分野の「まちづくり目標」について考える
 - (2)発表
 - (3)衆目評価(投票)
5. 閉会

4 配布資料

- 資料 1 第 2 回住民ワークショップ議事要旨
- 資料 2 第 3 回住民ワークショップの進め方
- 資料 3 住民ワークショップ提案書(案)

5 議事内容

1. 開会

- 事務局より開会の挨拶を行った。

2. 報告事項

- (1)第 2 回住民ワークショップ議事要旨について
- 事務局より資料 1 の説明を行った。

3. 資料説明

- (1)第 3 回住民ワークショップの進め方について

- 事務局より資料 2 の説明を行った。

- (2)住民ワークショップ提案書について

- 事務局より資料 3 の説明を行った。

- 質疑応答

Q:P1 に掲載している体系表は、前回(第 2 回住民ワークショップ)の資料 3 で示していた体系表の内容と変更はあるのか伺いたい。

A:前回と内容は同じである。

4. 住民ワークショップ

※P4～「住民ワークショップ意見一覧表」をご参照ください。

5. 閉会

○事務局より閉会の挨拶を行った。

以上

住民ワークショップ意見一覧表

【教育と文化、生涯学習の「まちづくり目標」について考える】

意 見
「南風原 ガンバル グローバル!!」
「きらきらと輝く人」→一部の人感があるので変更した方が良い
心の余白が持てる生活ができるまち
「むすまい」のキーワードを入れてほしい
「みんなが一緒に」(子ども～高齢者まで)
声かけしやすい→支え合い
学び、育み、支え合い、すべての人が活躍できる仕組み化されたまち PDCA→OODA(ウーダ)ループのまち
変化の早い多様な社会に対応できる教育(地政学、お金教育)
防災教育に強いまち(エッセンシャルワーカーが多い)
運動や子どもの遊びが自然に続く周回コース
絆の継承、担い手を仕組み化する取組
教育 DX(家庭ごとの格差があるのを学校でどうサポートすべきか)
グローバル教育をアピールしても良いのでは
国際交流に参加した子のその後はどうなっているのか?→もっと PR をして柱を太く
「循環」をキーワードに(南風原で育った子は南風原に戻ってくる)
柱に「家庭教育」、「ふるさと教育」、「学校教育」を新たに付け足しては?
「生涯学習」をキーワードとして目標や柱に入れてはいかがか
すべての人が交流し、繋がり、巡るまち
コミュニティスクールが R7 年度から始まった 学校と行政と地域で地域課題に対応する これから具 体案について詰めていく段階
家庭教育が一番大事→人との繋がりを大切にするまち(人との交流を持てるまち)
あいさつ運動を活発化させる
南風原に住んだら楽しめるまちにしたい
子ども会の会員数が減って、繋がりが減ってきている
交流
キーワードとして、「人材育成」、「文化センター」、「平和」、「繋がり」、「見える化」、「地域で育てる」
平和について学べるまち
学ぶ、育つ、支えるがすぐ側にあるまち
ゴールド人材センターの設立
包括的性教育(小さい頃～大人まで)
中学校でも読み聞かせを
ファミリー読書の取組強化→読み聞かせを町の youtube 等で収録・公開する
新たな人材が生まれるまち
公民館の活用
気軽に行ける居場所
みんなのやりたいことが見つかる!

【教育と文化、生涯学習の衆目評価(投票)結果】

「交流」、「人との繋がりを大切にするまち(人との交流を持てるまち)」	17 票
「すべての人が活躍するまち」を、「自分らしくいられるまち」や「すべての人が安心して暮らせるまち」に変えてみてはいかがか	12 票
キーワードとして、「OODA(ウーダ)ループ」、「人材育成」、「文化センター」を入れてみてはいかがか	11 票
「生涯学習」をキーワードに、学びを自分ごとに。	9 票
「学び、育み、支え合い、すべての人が活躍できる仕組み化されたまち」はいかがか	7 票
キーワードとして、「ウェルビーイングタウン(学び合う、育ち合う、支え合う)」、「循環(南風原で育った子は南風原に戻ってくる)」、「むすまい(助け合い、心を合わせてともに)」、「みんなが一緒に」を入れてみてはいかがか	5 票
「南風原 ガンバル グローバル!」はいかがか	4 票
「きらきらと輝く人」は一部の人だけを指している感じがあるので、「自分らしく」などに変えてみてはいかがか	3 票
キーワードとして、「グローバル教育」、「教育 DX」を入れてみてはいかがか	2 票



【健康と福祉、子育ての「まちづくり目標」について考える】

意 見
ちむぐくる
平和学習
おすそわけ
ゆいまーの町
男性支援
道の駅
若者(10～20代)支援
きらきらと輝く→自分らしく
育む、育み→ともに学び、ともに支える
すべての人が→自分らしくいられるまち
平和＝福祉 とともに支え合う
世代や様々な枠組みを重ね合いから生まれるそれぞれが出す色合いを認め合える町
若者が本領発揮できるまち南風原
今は辛くても明日は良くなると確信できるまち
多角的視点を持った人が住む町になってほしい
お互いを認め合える居場所づくり
すべての人が活躍するまち→プレッシャーに感じるので避けた方が良い
すべての人が安心して暮らせるまち
自助共助→自己責任的に捉えられてしまうかとしてほしい 公助が必要
文化センターを中心に平和のまちを打ち出す
福祉のまちを打ち出す
健康 長寿、ちむぐくるというものにこだわり過ぎで、そこは外していくと良い
子育て「ともにつくる」よりも「みんなで一緒に」と言う方が良い
福祉「障がい者」「高齢者」ではなく「すべての人を支援する」にした方が良い
農福連携
複合施設ができると良い
遊べる場
健康で過ごせるまち
ウェルビーイングタウン
子育て はじめの100ヶ月ビジョン
懸け橋プログラム
町の考え方の動画を作る(文章よりは映像の方が伝わりやすいかも)
今もこれからも「幸せ」と感じられるまち 自分でいられるまち 幸福度の上がるまち
平和＝福祉 とともに支え合う
人生が良くなる見通しが立てば幸福度も上がる 住民の意見が反映されたという実感が持てる それを「見える化」する
安心して住み続けられるまち
人権が大切にされるまち 子どもの権利
包括的性教育(赤ちゃん～大人まで)
道路信号 スクランブル交差点(兼城交差点)
キーワード「手を差し伸べる」
既にある組織を繋ぐ
隣近所の繋がり
ファミサポの充実
シルバー人材センター シルバー世代の活躍の場
アパート住まいの方の帰属意識は低い。転入時の役場窓口での声かけが必要。各字紹介チラシを作っ

てみてはどうか？
防災訓練の回数や、土日開催するなど工夫する
防災訓練の周知方法
自力での避難が難しい方の把握
地区による被災レベル 判断と対策
黄金に輝くウェルビーイングタウン
持続可能な社会をつくる
情報格差
話題性をつくるということも大事では？ オリジナル
南風原らしさとは？

【健康と福祉、子育ての衆目評価(投票)結果】

「幸せと感じられるまち(ウェルビーイングタウン)」	20 票
「すべての人が活躍するまち」を、「自分らしくいられるまち」や「すべての人が安心して暮らせるまち」に変えてみてはいかがか。	16 票
「南風原らしさを感じられるまち」	11 票
「学び、育み、支え合い、すべての人が活躍できる仕組み化されたまち」はいかがか	6 票
「ちむぐくる」というものにこだわり過ぎているので、外してみてはいかがか	5 票
キーワードとして、「循環(南風原で育った子は南風原に戻ってくる)」、「むすまい(助け合い、心を合わせてともに)」、「みんなが一緒に」を入れてみてはいかがか	4 票
「障がい者(児)・高齢者支援」ではなく「すべての人を支援する」に変えてみてはいかがか	4 票
「ともにつくる」を「みんなで一緒に」に変えてみてはいかがか	2 票
「手を差し伸べる」をキーワードに	2 票



【産業とまちの基盤の「まちづくり目標」について考える】

意 見
「みどりとまち」のキーワードを残したい
工夫と連携で産業が躍動するまち…「工夫と」→「AI や ICT」で効率化
支え合う農業
夢を持てる農業(若者が農業をしたいと思える夢を見ることができるよう)
産業・農業すべて南部地区で連携できる体制を
「連携する」は大事なキーワード
活気
ひろがり
「活力ある」というキーワードは良い
「繋がる」というキーワードも良い
みどり復活
共存 地域と行政みんながやりたくなる
空き家対策 10 年貸→契約(仏壇の管理も込み)
つかざん公園から黄金森公園まで信号にかからない周回コース
運動したくなる・続けられる木陰周回コース(2km 以上 8m 幅)
農村×商業
「耕作放棄地」をキーワードに入れてほしい→バナナ栽培で土砂災害対策
観光農園、週末健康公園
貸農園 120 人待ち→町が借り、指定管理で管理(トイレ、駐車場)
「稼げる農業」をキーワードに
住民が自分ごとで行動できる条件設定と環境をつくる
住み良いまちである
登校時間に道が混む
街路樹が貧弱(栄養不足)。大きな木だと枝が邪魔にならないから人が歩けるようになる。
「かすりロード」の復活
絆がもっと身近に感じられるまち
絆の担い手が繋がりがやすい環境
絆や農業等、技術を伴う産業に取り組めるよう部活
通園バス等、子どもたちの小・中学校に送迎
子どもや若者が仕事の体験ができる環境
体験(動いて・触れて・感じる)
農業 土づくりから収穫までを体験させる
キーワード「輪」、「活気」
みどり復活 どこを見てもみどりが目に入るまち
共存 地域と行政みんながやりたくなる！
子どもの声あふれる
体験を楽しむまち
「連携」→「連動」
身近な農業・産業
子どもたちが 1 つの作物を通して体験できるように
納涼祭 イベント

【産業とまちの基盤の衆目評価(投票)結果】

キーワードとして、「耕作放棄地」、「稼げる農業」、「支え合う農業」、「夢を持てる農業(若者が農業をしたいと思える、夢を見ることができる)」、「農村×商業」を入れてみてはいかがか	15 票
「みどりとまち」のキーワードは残していただきたい	12 票
「みどり」をキーワードは入れたい	10 票
「輪」か「連動」か「共存」のキーワードを入れたい	9 票
「活気」か「笑顔」のキーワードを入れたい	7 票
キーワードとして、「活気ある」、「繋がる」、「連携する」を入れてみてはいかがか	6 票
住民が自分ごとで行動できる条件設定と環境をつくる	6 票



【自治協働と広報、防災・環境の「まちづくり目標」について考える】

意 見
「人も自然も笑顔あふれるまちを“私”がつくる」
人も自然も笑顔あふれる
笑顔
地域
安全・安心
繋がり
“私”がつくる とともに生きるまち(自分ごと、協働)
「～のまち」ではなく「～のまちを私がつくる」「笑顔あふれるまちを <u>私</u> がつくる」→行動を後ろに持っていく
「ゴールド人材センター」
ゴールド人材センターの設立(できる人が、できる時に) 徳島マッチボックス参考になりそう
ポケ老人が大切にされるまち
誰かの“やってみたい”を応援するまち
自分ごととして考える
怖くないまち
子どもが一人でも歩けるまち
みんなでみんなを見守るまち
どの世代も安心
一人でも安心
安心の巡るまち
子どもから老人まで誰でも安心
帰りたいまち
自分のまちを知ろう！
観光協会とタイアップした字歩きツアー、自治公民館が避難所のツアーを計画する
「行財政計画」は硬い
小・中・高校生の地域活動や行政への参画
顔が見える関係
安全より安心
誰もが
住みやすい
発展し続ける
便利なまち
「みどり」…自然、農業に繋がる
認め合う 尊重
笑顔があふれるまち
優しいまち
心豊かな人が育つまち
ちむぐくる
「デジタル」→重要！
デジタルとアナログが融合するまち
迅速な情報発信 デジタル活用
行政手続きのデジタル化
協働
人材育成機能
利用者(公園・バスケットコートなど)、近隣者の意見を聞いて設計してほしい。造る前に議論を！
車イス駐車場の位置(宮平公民館)も利用者の立場、当事者への配慮が必要

小学生が寄り付きたくない公園No.1 になっている(うがんも公園)。大人の散歩コースを併設したら防犯の観点から安心
協働を専門に考える部署が必要ではないか？→協働人材センターが必要
公共施設は本当に安全・安心の場所？
津嘉山公園がやんちゃな子のたまり場になっている。→防犯もセットで対策する(見守りサポーター、パートナーシップなど)
転入時に町 LINE の登録をセットで、バッグをプレゼント
障がい当事者を巻き込む。専門の人を仲間にする。
困りごとを相談、解決の仕方がわからない
住民主体のまちづくり
減災という観点
自治協働がしっかりできると防災・防犯が

【自治協働と広報、防災・環境の衆目評価(投票)結果】

「ゴールド人材センター」はいかがか	24 票
「人も自然も笑顔あふれるまちを“私”がつくる」はいかがか	19 票
キーワードとして、「子どもが一人でも歩けるまち」、「みんなでみんなを見守るまち」、「子どもから高齢者まで誰でも安心」、「どの世代も安心」を入れてみてはいかがか	8 票
「防災」ではなく「減災」に変えてみてはいかがか	6 票
「みどりとまち」のキーワードは残していただきたい	5 票
「行財政計画」は硬く感じる	3 票
「～まちを“私”がつくる」を入れてみてはいかがか	2 票
キーワードとして、「発展し続ける便利なまち」、「誰もが住みやすい」、「繋がり」、「自分ごと」を入れてみてはいかがか	2 票
「デジタル」は今後のまちづくりで重要なキーワードである	1 票
キーワードとして、「行政手続きのデジタル化」を入れてみてはいかがか	0 票
「デジタルとアナログが融合したまち」はいかがか。	0 票

